

「組織の人間性排除の幻想」

スキルと人間性の関係

1/14/2010

伊藤達夫

メンバーのスキルさえあれば組織はまわるか？という私はそうではないと思います。でも、意外と人間性なんてどうでもいい、スキルさえあればなんとかなるというスキル信奉の方は山ほどいます。しかし、私は思うんです。その人のスキル部分の成長はメンタリティ部分の成長と対ではないかと。

特に企画職でそうだと思います。しかし、最近はメンタリティ部分には触れずに仕事をする人が多いです。中年の方々は、最近の若者は付き合いが悪いと言ったりします。しかし、本当に自分を開示していますでしょうか？付き合い方は変わってきています。若者はおじさんたちの飲み会には付き合いたくはない。でも、夕方に洒落た喫茶店でお話しするのは、別に若者もOKではないでしょうか。確かにお酒は嫌いな若い人が多いです。ただ、しらふで語り合うメッセージをおじさんたちが逆に持っていなかったりします。若い人と正面から向き合えないおじさんたち。逆に上の世代が怖がってしまっているから、若者も向き合えないのではないのでしょうか？

表現に精神面は非常に大きな影響を与えます。企画というのは表現です。自己表現です。いや、会話すら自己表現です。その会話のスキルが上がるのに、気持ちは関係ないのでしょうか？その人の人間性は関係ないのでしょうか？私は関係があると思います。企画を作るときのアイデアに、人間性、メンタリティ、モチベーションは関係ないのでしょうか？私は関係があると思います。だとすれば、人間として、人間性の部分にも及ぶような付き合いが、指導が職場で必要なのではないのでしょうか？

一時期流行した、いわゆるメンターといわれる人との出会いは、魂と魂の出会いですね。私も、折に触れて相談する、元上司の人々とは、もう仕事上の関係はないのです。しかし、電話して相談すると、みなさん快くアドバイスをくれます。そういう人と人のつながりが成長をもたらすのではないのでしょうか？上司はメンターになれているのでしょうか？人間としての精神論の部分と、スキルの部分と、両方で指導できる人間になれているのでしょうか？

こういうことを自分に課すのはある意味でしんどいです。そして、人とのふれあいもある意味でしんどいです。自分が部下の魂と触れ合う時、あなたも部下に見られている。見ると言うことは、見られるということです。そのあなたの人間性をさらした時、あきれられない人間であるのか。失望されない人間であるのか。それは上司にとって、マネージャーにとってもしんどいことです。自分の話ばかりする人は、煙たがられるかもしれません。しかし、あなたは自分の過去を語れますでしょうか？たいした過去でなくても、自分の生き方を語れますでしょうか？

あるコーヒーチェーンの創業者は、ライバル会社で働いていました。1週間ぐらいバイトしていました。そして、そのマニュアルを持って、消えました・・・、と言われていました。その過去を正々堂々と語れるのでしょうか。ひた隠す日々なののでしょうか？

自分をさらせる。そして、自分を表現できる。部下に伝えられる。だからこそ、部下の人間的な成長を志向できるのではないのでしょうか？しかし、職場で、人間的な側面のお話しを出すとするのは、ある意味で人間的なぶつかりあいを創出するかもしれません。人間としてのぶつかりあいを、職場で起こすのはめんどろかもしれない。そのケアは本当にしんどいでしょう。しかし、そういった組織の仕事のほうが感動があると思います。ビジネスライクという言葉に、人間性を埋没させた職場に成長はあるのでしょうか？そういった組織はチャップリンのモダンタイムスのような組織の延長上にあるように思います。人間性を失う組織です。

しかし、これからビジネスは企画の時代に入ります。単純にモノを売るわけには行かない時代です。概念的バリューの理解が競争のポイントとなります。企画、プランニングが競争のポイントになると、そういった人間をマネジメントすることが重要となる。そうすると、そこには人間のふれあいがあるのではないかと。

人間として成長できる組織が、結局勝ち残る時代が、ようやく、ピーターセンゲがラーニングオーガニゼーションと称した組織が勝つ時代が訪れているように思います。別に私が人間的に優れているということではありません。自分はどうしようもない、と悩んだりします。しかし、それをさらして、判断は人に委ねているんです。ある意味、無謀ですがその勇気を持たないと、誰にも嫌われないかもしれないけど、誰にも信じてもらえない人になるでしょう。

私も日々、模索を続けています。日々、自分の人間性を向上させねばと思っはいます難しいです。人と触れ合うことにはある意味、難しい。その過程でいろいろなことがおきます。でも、これからはじまる未曾有の大不況な時代。企画、プランニングから離れた業種であればあるほど、駄目になっていく大不況な時代。その時代に、人間性を取り戻せた企業が勝ち残るのではないかとと思っています。